

「テルーの歌」映画『ゲド戦記』の主題歌

夕闇迫る 雲の上
いつも一羽で 飛んでいる
鷹はきっと 悲しかろう

音も途絶えた 風の中
空をつかんだ その翼
休めることは できなくて

心を何に たとえよう
鷹のような この心
心を何に たとえよう
空を舞うよな 悲しさを

雨のそぼ降る 岩陰に
いつも小さく 咲いている
花はきっと せつなかりう

色もかすんだ 雨の中
薄桃色の 花びらを
愛でてくれる 手もなくて

心を何に たとえよう
花のような この心
心を何に たとえよう
雨に打たれる 切なさを



人影絶えた 野の道を
私と共に 歩んでいる
あなたもきっと さみしかろう

虫の囁く 草原を
共に道行く 人だけど
絶えてもの言う こともなく

心を何に たとえよう
一人道行く この心
心を何に たとえよう
一人ぼっちの さみしさを

<https://www.youtube.com/watch?v=27ueHOa2QMo>



『ゲド戦記』（ゲドせんき、英題：Tales from Earthsea）は、アーシュラ・K・ル＝グウィンの小説『ゲド戦記』の主に第3巻の「さいはての島へ」を原作とし、宮崎駿の絵物語『シュナの旅』を原案とした長編アニメーション映画。スタジオジブリ制作。東宝配給で2006年7月29日に劇場公開。宮崎吾朗監督・脚本の独自解釈によるストーリーとなっている。

今は一人で耐えていかなければならないときであるけれど、心を何に例えてよいか迷う時だけれど、花も雨も虫も、同じように心開かないさみしさに耐えているように、一人悩みは深い、やがて一筋の道が見えてくるから。間違いなく進む道は、あなたを輝かせるときにつながっているから。